

科目名	教職実践演習(中・高)			ナンバリング	EDU181	授業形態	講義
対象学年	4年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	中島清州	担当教員	石川哲夫				

授業の概要	<p>本科目は、教職課程四年間の学びの集大成として、講義等において学んだ「教育理論」と教育実習で体得した方法・技術の「教育実践力」の統合を図ることにより、教職への使命感や責任感を持てるようにする。更に、子どもや保護者の変化に柔軟に対応できる「確かな指導力」を備えた教員としての資質・能力の定着とさらなる構築を目指すものである。学校現場見学、外部講師の講話、グループ討議など多様な授業形態を取り入れながら、専門的力量と豊かな人間力を高めることを目標とする。</p>						
到達目標	<p>1 教育実習での体験を踏まえて、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量がどう高まったか検証する。  2 三人の講師の話に基づき、各自の課題についてグループ討議等を通して深め、レポートにまとめることにより、教職課程履修の方向性を定める。  3 他の人と協力し合いながら、様々な活動について取り組み、教職課程履修のねらいである豊かな人間性を高める。</p>						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<p>教育実習や小学校、中学校、高等学校の学校訪問を振り返り、外部講師の話に基づき教育理論や実践的技術をレポートにまとめ、教師としての専門性をどう高めるか意欲的に取り組むこと。</p>						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<p>1 教育実習の体験を基に、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解している。  2 各自の課題について、グループ討議等を通して深め、今後の教職課程履修の方向性を確立する。  3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に取り組み、教職課程履修の重要なねらいである「豊かな人間力」を高める。</p>	<p>1 教育実習の体験を基に、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解し、高めようとしている。  2 各自の課題について、グループ討議等を通して更に深め、今後の方向性を明確に確立する。  3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に積極的に取り組み、さらなる「豊かな人間性」を確立しようとしている。</p>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
授業への参加態度			○	○	○		40%
小テスト・授業内レポート	○	○					20%
宿題・授業外レポート	○						40%
出席			○	○			出席は加算対象とならず、欠席は減点対象

課題、評価のフィードバック	<p>1. テーマについて主体的に関わり互いに議論を交わし、学習内容について学修を修正し深めていく。  2. 各時限のそれぞれの講義のレジュメを基にリフレクションペーパーに授業考察・疑問・質問項目を書き入れ、次時にフィードバックし、予習・復習に役立てる。</p>
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	「教職実践演習」の概要及び講義概要の説明	講義概要の説明: ガイダンスや教育実習日誌を基に、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第2回	教育実習の記録の共有と振り返り(1)	・自分の教育実習日誌の加除訂正等のまとめをする	
	第3回	教育実習の記録の共有と振り返り(2)	・教育実習の報告要旨の加除訂正などのまとめをし、A4版1枚の報告書をまとめる	
	第4回	教育実習の記録の共有と振り返り(3)	・グループ討議や全体討議を踏まえて、教育実習から学んだ目指す教師像について、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第5回	新任教員の講話	・新任教員講話を基に今の時点での自分の歩みを点検し、専門性についての課題を深める。	
	第6回	新任教員の講話の共有と振り返り	・グループ討議や全体討議を基に、自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第7回	中堅教員の講話	・中堅教員講話を基に、今の自分の歩みを点検し、専門性をどう深めるか追究する。	
	第8回	中堅教員の講話の共有と振り返り	・グループ討議や全体討議を基に、自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第9回	小中高等学校訪問	・授業記録用紙を基に、各学校の良さを自分の教育実習との比較でまとめ深める	
	第10回	教育行政担当者の講話	・教育行政担当経験者の講話を基に、公務員としての情熱や使命感について、自分の歩みを点検し、専門性をどう深めるか追究する。	
	第11回	学級経営と教師の仕事	・学級経営と教師の仕事について、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第12回	社会人になるとは	・社会人とは何かについて、自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第13回	先輩教員の記録を読む(1)	・先輩の生き方を振り返って、自分の現在の歩みを点検し、課題を見つめまとめる	
	第14回	先輩教員の記録を読む(2)	・先輩の生き方を振り返ってグループ討議や全体討議を基に、現在の自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第15回	教員としての資質・能力ー使命感、専門性、人間力	・グループ討議や全体討議を踏まえて、目指す教師像について、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。討議を必要とする授業テーマについてはグループ協同学修形態体験を取り入れる。		
授業外学習の指示		配付資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず資料等で確認するか教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に、なし
参考書	授業中に適宜資料を配付する。
参考URLなど	
その他	この授業は、全ての教職課程科目のベースとなる内容である。できるだけ欠席を避けること。

## ループリック

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	知識・技能	教育実習で得た課題を通して備えなければならない、教職としての資質・能力等を、教育実践的な視点で理解している。	教育実習で得た課題を通して備えなければならない、教職としての資質・能力等について自分なりに理解している。	教育実習で得た課題を通して、備えなければならない教職としての資質・能力等についてよく理解していない。
2	思考力・判断力・表現力等	外部講師の話をもとに、教職を目指す上での自分の課題に気づき、その対応策を考え、教職としての専門性を高めることができる。。	外部講師の話をもとに、教職を目指す上での自分の課題に気づき、その対応策を考えることができる。	外部講師の話聞いても、教職を目指す上での自分の課題が見つからず、対応策を考えることができない。
3	学びに向かう力・人間性等 (主体的に学習に取り組む態度)	他人と協力し合いながら、様々な活動の中で、豊かな人間性を高め、教師としての使命感や責任感を持ち、教職を目指そうとする。	他の人と協力し合いながら、様々な活動について取り組み、豊かな人間性を高めようとする。	他人と協力し合いながら、様々な活動には取り組むが、教職への志望動機が不明確とともに、豊かな人間性を高めようとする気概が見られない。
4				
5				
6				
7				